

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月13日			
平成16年度	事業コード	21210	電話	042-769-8334
担当部課名	環境事業部	ごみ減量推進	課	ごみ減量 班
事務事業名	ごみの減量化行動実態調査			
予算上の事務事業名	ごみの減量化行動実態調査			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第 2 節	リサイクル型社会の構築	15 年度
施策名	第 1 施策	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
市内事業所におけるごみの減量化・資源化及び適正処理を促進するため、現在の取り組みやごみの発生状況など事業系ごみの処理の現状把握及び分析を行うとともに、市内商店会の減量化意識・取り組み状況等の把握を行い、主体別行動指針における業種ごとの排出特性に応じたガイドラインの作成、減量化等計画書の提出対象範囲の拡大検討、新たな施策・事業の検討のための基礎データとする。	市内事業者	
	対象数	単位
	22,000	
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
調査期間 6月2日(月)～6月20日(金)		
調査対象		
(1)市内事業所等 1,919か所		
(2)業種等		
・金融・保険、不動産、交通、工業、サービス、商業、建設、飲食店、特別養護老人ホーム、病院、小・中学校、その他学校、幼稚園、私立保育園、介護老人保健施設、法内施設、国・県等公共施設等(1,839か所)		
・コンビニエンスストア(本部調査11社)		
・商店会(69団体) (回答) 1,124件 58.6%		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名		
計画年次	年度～年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	市内全事業所に占める調査対象事業所の割合	調査対象事業所÷市内全事業所×100 1,919÷22,424×100=8.6%		13	14	15	16	17
活動指標	事業所ごとの回答率	・事業所等 58.9% ・コンビニ 63.6% ・商店会 49.3%						

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数			1人・年間		
	人件費			8,010		
	その他経費					
	合計	0	0	11,401	0	0
	特定財源					
	対象数(--)			22,000		
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	518.2	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	事業系ごみの減量化・資源化及び適正処理を促進するうえで、調査の回答率や分析結果等から当初の調査目的を十分に達成しえたと考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 調査の内容は、事業者ニーズにかなったものであり、かつ、事業系ごみ対策を進めるうえで必要不可欠なものである。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		調査目的である主体別行動指針における事業者のごみ減量行動の検討及び減量化等計画書の提出対象範囲の拡大検討に有効に活用し、今後の施策・事業の推進上も有効なデータとした活用できる。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	他市の事例と比較しても、低コストで効率的な調査が履行できたと考える。
(5)公平性 評価 ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
例年実施する調査ではないが、今回の実績を踏まえ可能な範囲で事業系ごみの実態把握を継続的に行うことで、施策・事業の推進上一定の成果が期待できる。			

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較 ここ数年の間で同様な調査の実績をもつ大阪市や札幌市など他市の事例と比較しても、低コストで効率的な調査が履行できた。
今後の進め方		総合評価に関する説明 調査結果を有効に活用することで、事業系ごみ対策専管組織による一層の減量化・資源化の促進とこれまで以上にきめ細かな事業者に対する指導の充実が図られる。
<input type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--